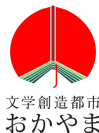


令和6年能登半島地震 被災地支援

特別公開展

「おかえり、阿房列車」 記念朗読会



内田百閒先生の幻の原稿が見つかった！

岡山市出身の文筆家、内田百閒の代表作「阿房列車」（全15編）のうち、最後まで行方がわからなかった直筆原稿2編が昨年、青森市で発見され、現在岡山市南方にある吉備路文学館で公開されています。そのうちの「不知火阿房列車」には故郷の思い出が多数記載されています。ぜひ朗読会で百閒先生の魅力を感じてください！

日時：1月27日（土）

午後2時～3時30分

（受付1時30分より）

場所：吉備路文学館

岡山市北区南方3-5-35

なるべく公共交通機関にてお越しください。

なお、お車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用願います。

朗読会参加者は無料でご入館いただけます。



お申し込み(定員40名)

Facebookの  
イベントページ

お問い合わせ

090-5372-9880

(ケセラセラ 妹尾)

program

「内田百閒氏」  
「私の好きな人」  
「「鶴」と百閒先生」

芥川龍之介  
宮城道雄  
室生犀星

「不知火阿房列車 第四節」

師！  
夏目漱石 「夢十夜」より

百閒は百閒にしかず！

朗読グループ「桃太郎の姫はなぜいない？」は岡山県内のフリーアナウンサーが所属しています。朗読を通して、本の面白さを伝え、地域の活性化に役立つ活動を目指しています。当日は募金箱を設置します。能登半島地震の被災地支援にご協力をお願いいたします。



共催：桃太郎の姫はなぜいない？、公益財団法人 吉備路文学館

後援：岡山市文学賞運営委員会